

宮下ゆみこのまちづくり活動記録

'94年	4月	27歳	北海道月形町に移住
'97年		30歳	認可保育所設立を働きかける
'98年	11月	31歳	学童保育設立に向け、仲間と運動 ('99年4月開設)
'03年	12月	36歳	つきがた未来21 設立・副代表 (~'05年3月解散)
'04年	4月	37歳	北海道地方自治土曜講座受講 (~継続中)
	11月		月形町まちづくり推進会議委員 (~'06年11月)
'05年	4月	38歳	つきがた まちづくり NPO ふきの とう設立・代表 (~活動中)
	6月		北海道自治体学会政策シンポ ジウム分科会でパネラーを務める
'07年	2月	39歳	雑誌「農家の友」に「カントリー ライフへご招待」を連載中

宮下ゆみこの横顔 (プロフィール)

昭和42年3月24日生 血液型 O型
栃木県出身
宇都宮大学農学部卒
職業：農業 (切花)
家族構成：夫と子供2人の4人家族
趣味：バレーボール、登山、料理
特技：弓道二段
資格：カットフラワーアドバイザー
普通自動車免許、自動二輪免許 (中型)
好きな言葉：「大胆にして細心」「一所懸命」
好きな本：「大草原の小さな家」
好きな映画：「ワーキングガール」

- ★ つきがた まちづくり NPO ふきのとう 代表
- ★ 環境 NPO 地球を愛する会@月形 幹事
- ★ ママさんバレー「月形ポパイズ」所属

後援会入会のご案内

私が宮下ゆみこさんを知ったのは新規就農した13年前です。農業に取り組む姿や最近のNPO活動など、宮下ゆみこさんの行動は「真面目」「純粋」「真剣」という言葉で表すことができます。その熱意と行動力に、私をはじめ多くの町民が共感し、賛同しているところです。

私は既に70歳を過ぎ、若い人に将来を託す立場となりました。月形の将来を良くするために新風を吹き込んでほしい、そういう思いから宮下ゆみこさんに期待しています。

町民の皆さん、宮下ゆみこさんにより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宮下ゆみこ後援会 会長 捧 定

宮下ゆみこのまちづくり活動を 応援していただけますか？

宮下ゆみこ後援会は宮下裕美子さんの政治活動を支援し、会員相互の親睦を深める目的で結成されました。会報の発行、講演会や座談会の開催などを通じて情報を共有するとともに、まちづくりに関する幅広い活動を目指しています。

宮下ゆみこ後援会では随時会員の受付をしています。宮下ゆみこのまちづくり活動を応援していただける方、後援会の趣旨に賛同しご協力いただける方は、後援会事務局または会員までご連絡下さい。

《 宮下ゆみこ後援会事務局 》

〒061-0512 樺戸郡月形町市南1

電話&FAX 0126-53-2611

メール mail@yumiko3.net

ホームページ <http://www.yumiko3.net>



「まちのちから」を
「まちづくり」に



宮下ゆみこ後援会のしおり

宮下ゆみこの「まちづくり」とは

- ※ 情報公開の推進 ※
- ※ 多様な視点を活かす ※
- ※ 人と情報のネットワーク強化 ※
- ※ 将来展望と行動の積み上げ ※

〈討議資料〉

「まちのちから」を「まちづくり」に

宮下ゆみこが考える「まちのちから」とは・・・

<p>体力がある</p> <p>★ 財政に余裕があるとは言えませんが、自分達のアイデアを現実にするにはできます。★ 体力を向上させる産業もあります。</p>	<p>魅力的な人材がいる</p> <p>★ それぞれの分野で独自の考えを持ち、新たな道を切り開いている個性的な人がいます。</p>	<p>魅力的な人を応援する体質がある</p> <p>★ 応援の声は「道を拓く人」にも「後が続く人」にも大きな力になります。</p>	<p>「まちづくり」に関心のある人が多い</p> <p>★ 投票率は9割。 ★ 町民に関係する大きな問題の集会には多くの人が参加します。</p>
---	--	--	---

この「まちのちから」を「まちづくり」に活かすためには・・・

今まで「まちづくり」は、自分から遠い存在だった人が多いのではないのでしょうか。しかし、地方分権や財政難、格差社会などがマスコミをにぎわすように、時代は確実に変わってきています。限られた人達による「前例踏襲」や「お任せ」の「まちづくり」には限界が見えてきました。

幸いにも私たち月形町には「まちのちから」があります。この地域力、総合力を「まちづくり」に活かすことができたら、月形町は暮らしやすく心豊かな町、住み続けることができる町になっていくと考えます。

そこで私は以下の4点を「まちづくり」の柱と実践として掲げます。

<p>まちづくりの柱 ↓ ↓</p>	<p>情報公開の推進</p> <p>情報公開は問題点の早期発見と、新たな発想による改善の可能性が望めます。また、情報を多くの人が目にするにより透明性が増します。</p>	<p>多様な視点を活かす</p> <p>変化が激しく価値観が多様な現代は、限られた人達の議論だけでは不十分です。町民の中には色々な考えや生活環境等の違いがあり、その多様な視点は財産です。</p>
	<p>人と情報のネットワーク強化</p> <p>「情報公開」や「多様な視点」があっても、それぞれが単独では力を発揮できません。組織の縦割りの仕事で問題解決が遅れた経験を皆さんもお持ちと思います。個々に存在する人や情報を繋ぎ、ネットワークを強化してあらゆる問題を多方面から検討できるようにすることが、迅速で的確な実践を生み出すと考えます。</p>	<p>将来展望と行動の積み上げ</p> <p>何事も現状をふまえ、議論を重ね、行動にいたって完成します。ここに将来の展望を加え進むべき方向を明確にします。 現状のままとどまることや、評論ばかりで自ら動かないことは状況を悪化させるだけです。行動の積み重ねがあってはじめて未来へ通じます。</p>
<p>↓ ↓ 現実にするための実践方法</p>		

以上の具体策として《 後援会だよりの定期的な発行 》で情報を提供するほか、

《 ブログ 》や《 ホームページ 》でも情報を発信していきます。

宮下ゆみこは、これまで培ってきた行動力で「まちづくり」を実践していきます。

宮下ゆみこの月形への想い

私が月形町に住み始めて丸13年が経ちました。私たち夫婦は20代から40代に歳を重ね、赤ん坊だった娘は中学生になりました。また、現在小学生の息子は月形で生まれました。

仕事では、新規就農者として何も分からなかった私達が、諸先輩のご指導によって、自分の栽培した「花」を自信を持って売ることができるほどになりました。また地域の方々とのふれあいで安心した暮らしと楽しみを見いだせるほど、とけこむことができました。

月形に来てからの13年間は、一人の人間として、母親として、農家として、生活者として、人生の上で重要な多くのことを学ばせていただきました。日々の生活で様々な疑問や問題にぶつかり、周囲からの励ましや助けをいただきながら新たな挑戦や行動をして今日に至りました。

月形に住んでいるからこそ感じたこと、考えたこと、実践できたことがたくさんあります。月形に住んで良かった、農業を始めて良かったと実感しています。

これからもずっと月形に住み続ける私にとって、この町がより良くなることは、今の世代も、未来の世代も、暮らしやすくなるということです。

自分の身の回りにあるあらゆる問題に目を向け、将来的な展望を持って改善策を見つけ素早く実践する。このことを心に刻み、これからも積極的に「まちづくり」に参加していきたいと考えています。